

## 質 問 回 答 書

入札番号：総病新 第20号

工事名称：平成28年度 静岡県立総合病院 第1立体駐車場等建築工事

### 【建築工事】

No	分類	関連項目	質問内容	回 答
1	公告	入札公告	<p>入札公告 3ページ 「入札書等の提出」の下行の「その他」において、見積書（不調随時契約用）の様式は“建設工事等競争契約入札心得様式第2号を準用”とありますが、配布資料に見当たりませんので書式をご提示ください</p> <p>又、この見積書は入札時の提出資料とするか手元に用意しておくのかご指示ください</p>	<p>不調随時契約用の見積書は、入札時には提出不要。様式については、落札候補者に別途指示する。</p>
2	設計書	設計書数量	<p>設計書に示されている数量について、数量差が生じた場合は精算と考えるか、それとも図面変更など正等な理由の無いかぎり設計書は参考数量として精算しないのか、数量の扱いを教えてください</p>	<p>設計書は契約図書であり、参考数量ではない。</p>
3	型式認定	設計概要、型式 図面 A-30	<p>A-31において認定番号が記載されており、他社で計画変更も可となっております。計画変更にかかる費用について、教えていただけますでしょうか。</p> <p>また、防耐火認定がとれていれば、どのメーカーでもよろしいでしょうか。条件がありましたらご指示願います。</p>	<p>計画変更に係る費用については、建築基準法における各指定建築確認審査機関及び指定構造計算適合性判定機関の規定による。</p> <p>記載されている認定番号は、メーカーを指定するものではないが、図面A-30に記載の仕様について全て満足する必要ある。</p>
4	型式認定	設計概要、型式 構造図面全般	<p>図面に記載の駐車場は、静岡県建築構造設計指針に規定されている柱梁接合耐力比及び横補剛材等の規定を満足していないが、支障ないか。</p>	<p>鉄骨上屋は、静岡県建築構造設計指針（2014年版）を遵守する必要がある（ただし、用途係数I＝1.0を採用。型式認定駐車場メーカーに見積徴収の際、注意のこと）。</p> <p>なお、上記により、鉄骨工事の内容に変更が生じても設計変更の対象としない。</p>

5	型式 認定	駐車場高さ 図面 A-36, 37	立面図において、1FL～2FLの高さが3250mmとなっておりますが、3200mm（防耐火認定取得済）でもよろしいでしょうか。	型式認定において、1階の階高が3,200mmまでしか認められていない場合のみ、3,200とすることを可とする。ただし、鉄骨数量等少なくなるため、減少分については、設計変更対象とする。 さらに、高さ変更に係る建築確認申請、建築許可等の各種法的手続きは、受注者負担とする。
6	仮設	現場事務所	現場説明書において、現場事務所として現在ある現場事務所の1/3を使用することができる（有償）とありますが、使用する場合、その使用料をご教示ください。	図面 A-11 に記載のとおり。
7	仮設	仮設備/用地 現場説明書 共通仮設工 事 図面 A-11	現場説明書および A-11 図に病院敷地南隣接地に設置されている3階建現場事務所の1/3を有償にて利用できるとありますが、設備（照明等電気設備、WC等給排水設備、空調設備）も含むと考えるとよろしいでしょうか。また、利用できる面積をご明示ください。 その他、同地で現場事務所以外に利用できる施設・設備がありましたらご明示ください。	貴見のとおり。ただし、電気料及び維持管理費は、図面 A-11 に記載の金額に含まれていない。 利用できる1/3の面積は、約240㎡。 その他、利用できる施設・設備の照会については、内容が具体的でないため、回答できない。
8	仮設	現場事務所・作業員休憩所・トイレの使用について	「現場説明書 その他の事項2」に現場事務所は、病院敷地南隣接地に設置されている現場事務所の1/3を平成29年7月15日より使用できるとありますが、契約後から平成29年7月14日までの現場事務所・作業員休憩所・トイレの設置場所をご指示願います。	契約後から平成29年7月14日までの現場事務所・作業員休憩所・トイレは、受注者負担により院外に確保すること。
9	仮設	仮設工事	図面番号 A-02 2仮設工事 2監督員事務所について、「設ける」こととなっております。平成29年7月15日からは病院敷地南隣接地に設置されている現場事務所内に設置できるものと考えますが、契約後から平成29年7月14日までの監督員事務所の設置場所をご指示願います。	病院敷地南隣接地に設置されている現場事務所の1/3を有償にて借用する場合のみ、平成29年7月14日までの間の監督員事務所の設置は不要とする。

10	仮設	仮設工事	<p>図面番号 A-02 2 仮設工事 2 監督員事務所の備品にパソコンがありますが、パソコン台数、仕様について、ご指示願います。</p>	<p>パソコン台数 8 台、仕様 (タイプ : デスクトップ型 OS : Windows10 メモリ 4GB 以上 CPU : Core i5 以上 コア数 4 コア以上、office2010 及びセキュリティ対策ソフト)</p> <p>なお、A3 カラー複合機 (プリンター、コピー、スキャナー、ファックス機能付き) × 2 台必要となるので、積算上、考慮のこと。</p>
11	仮設	指定仮設 現場説明書 設計書	<p>現場説明書では、土工事および共通仮設に計上されている項目は指定仮設とされていますが、一部を任意仮設として見積提出時に提案することは可能でしょうか、提案が可能とした場合には指定仮設との差額精算は無いものと考えて提案したいと思います</p>	<p>見積提出時に提案することは不可である。</p> <p>受注者の要望等により指定仮設を変更したい場合は、契約後、受注者と協議する。</p>
12	仮設	現場説明書	<p>現場説明書のその他事項に仮囲いに完成イメージパースを掲示するとありますが、掲示手間のみと考えてよろしいでしょうか。掲示する仕様 (仮囲いにフィルム貼りあるいはパネル等の仕様) も合わせてご指示下さい。</p> <p>製作共の場合、仕様 (仮囲いにフィルム貼りあるいはパネル等) をご指示いただくとともに、イメージパースのデータ貸与させていただけるものと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>製作共で、フィルム貼りとする。</p> <p>また、イメージパースのデータを貸与する。</p>
13	仮設	共通仮設工事 工事用電力・用水 図面 A-02	<p>A-02 図に工事用電力、工事用水が構内既存施設を有償にて利用できるとありますが、利用できる施設の場所・内容等をご指示下さい。</p>	<p>第 1 立体駐車場の建設地西側にあるキュービクルにより、</p> <p>電灯系 : 100A 6.0kW</p> <p>動力計 : 200A 三層 20.0kW</p> <p>利用できる。</p> <p>工事用水については、19A 散水栓から分岐。</p>
14	仮設	仮設工事	<p>図面番号 A-71 D-D' 断面詳細図に山留 (鋼矢板) と仮囲いの納まりが記載されています。同図面から仮囲いが山留 (鋼矢板) に沿った位置となっているため、山留 (鋼矢板) を打設する際に同山留 (鋼矢板)</p>	<p>仮囲いは指定仮設となるため、受注者と別途協議する。</p>

			から離れた位置に別の仮囲いが必要になると考えます。仕様等について、ご指示願います。	
15	仮設	仮設工事	図面番号 A-90 に、シートパイル(施工後引抜き)と記載されています。同シートパイルは立体駐車場建設後の作業となり、道路にクレーンを設置して引抜くことになると考えます。音の問題を考慮して昼間作業と考えて宜しいでしょうか。	シートパイルの引抜きは、建方施工前に引抜くこととし、昼間作業とする。
16	土工事	土工事 埋戻し土種別 図面 A-02、 S-01	土工事のうち埋戻しの種別が A-02 図では A 種・B 種に印がついていますが、S-01 図では B 種のみ印がついています。A-02 図を正として A 種・B 種どちらでもよいと考えてよろしいでしょうか。 また、A 種の場合、適用される土質性状の規格値がありましたらご指示下さい。	図面 A-02 を正とし、設計書に記載の区分により、両方適用がある。A 種の規格は、設計書、標準仕様書及び監理指針に記載のとおり。
17	土工事	建築工事	根切り開始は設計 G L からと考えて宜しいでしょうか。	既存アスファルト舗装材の撤去後、舗装材の下端からを想定している。
18	地業	建築工事 図面 A-47	E V ピットの床板上に防湿シートの記載が御座いますが、必要と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
19	地業	建築工事	土間スラブ下には防湿シート t=0.15 を敷き込むと考えて宜しいでしょうか。	A 階段及び EV・B 階段棟の下には必要である。
20	耐火被覆	構造 図面 A-03. 30. 43. 47 設計書 P 29. 89	耐火被覆について、図中で EV 棟・A/B 階段の柱・梁は半湿式ロックール：1 時間耐火 (t 25) の記載ですが、設計書 耐火被覆工事で 2 時間耐火 (t 45) の項目も見受けられます。2 時間耐火 (t 45) の該当範囲は 1 階 (2 階床梁を含めてその下部) 部分と考えて宜しいでしょうか。	設計書を正として、1 階部分を 2 時間耐火により被覆すること。

21	鉄骨	鉄骨工事 耐火被覆 設計書 P. 29, 89 図面 A-03、 30	EV 棟および西棟階段部分の耐火被覆について設計書では 2 時間耐火の記載がありますが、図面では 2 時間耐火の記載がありません。1 時間耐火のみと考えてよろしいでしょうか。	
22	既製コンクリート工事	既製コンクリート工事 図面 A-03、 47	A-47 図に外壁詳細図に成形セメント板のピースアングル・持ち出しピースアングル・埋め込みプレートがメッキ仕上げとなっていますが、通しアングルはメッキ仕上げの記載がありません。隠蔽部となるため全て錆止めと考えてよろしいでしょうか。(鉄骨では EV 棟・階段室棟は錆止めとなっています。A-03 図)	不可である。通しアルゲルのみ錆止め塗装とする。
23	既製コンクリート工事	既製コンクリート工事 A-46	A-46 図 EV 棟のホール-EV-階段の区画壁は成形セメント板と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
24	防水	外装 図面 A-04	特記仕様書防水工事に、④塗膜防水：ポリマーセメント系塗膜材（パラテックス防水）とありますが、施工場所を御指示下さい。	図面 A-47 に記載の EV ピットとし、積算上、考慮のこと。
25	樋	建築工事 (外部) 図面 A-30. 36	縦樋の径ですが、立面図：75φ、内訳書：100φと相違します。内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
26	樋	外装 図面 A-05. 31～35	駐車場棟ドレイン及び縦樋径はφ100と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
27	樋	外装 図面 A-49. 設計書 P 33	設計書の西棟屋根工事において縦樋φ50がありますが、大庇部と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
28	樋	建築工事 図面 A-31. 32	西棟の Y4 通り X3. 4. 5. 6. 7 通りの縦樋が 1 階平面図に記載が無く経路が不明のため御指示下さい。	X3 通りの縦樋は、X1 通り樋へ横引してつなげて落とす。X4、5 及び 7 通りの縦樋は X6 通りの樋へ横引してつなげ、Y4 通りからスロープ下を通し SY 2 通りの縦樋に落とす。

29	金属	金属工事 EXP. J 材質 図面 A-05、 51	エキスパンションジョイント金物の材質が A-05 図では SUS、A-51 図では CHPL-6、CHPL-9（溶融亜鉛メッキ仕上）となっています。A-51 図を正と考えスチール製としてよろしいでしょうか。	図面 A-51 を正とし、スチール溶融亜鉛メッキ仕上とする。
30	金属	建築工事 図面 A-05. 51. 52	エキスパンションジョイント金物の仕様ですが、仕様書：ステンレス、部分詳細図：チェックプレートと相違します。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
31	金属	外装 図面 A-05. 51	駐車場棟エキスパンションジョイントが、特記仕様書ではステンレス製となっていますが、部分詳細図(2)ではスチール溶融亜鉛メッキ仕上です。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	
32	金属	建築工事 図面 A- 34. 40. 50	スロープ屋上にグレーチングの表記がありますが、仕様・形状の記載が無く不明です。W=300 で溶融亜鉛メッキ・細目と考えて宜しいでしょうか。 また、上記の排水溝の仕上の記載が無く不明のため御指示下さい。	グレーチングは、W300、スチール製、細目、T-14 により積算に配慮のこと。 仕上げは、浸透性塗布防水である。
33	金属	建築工事 図面 A-07	建築工事特記仕様書(6)-20. エット及びその他工事⑫天井点検口とありますが、設置箇所が不明です。A 階段及び B 階段に 1 か所ずつを見込んで宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
34	金属	内装 設計書 P 37	立体駐車場棟（西棟）の設計書 金属工事（内部）に、天井点検口 1 か所の記載がありますが、設計図には図示が見受けられません。設計書通りに、1 か所見込んで宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
35	金属	内装 図面 A-07. 59 設計書 P 95	エレベーター詳細図（6）に、天井点検口の図示がありますが、仕様・寸法・数量は特記仕様書及び E V 棟の設計書 金属工事（内部）より、アルミ額縁タイプ 450 角が 1 か所と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。

36	左官	建築工事 図面 A-44	A 階段詳細図 (2) のスロープ床に塗床仕上の表記がありますが、仕様が不明のため御指示下さい。	刷毛引き仕上げとする。
37	左官	建築工事 図面 A-30. 36. 39. 50	1 階外周部の RC 立上りの表記がありますが、仕上の記載が無く不明です。コンクリート打放補修と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。
38	建具	建具工事 見本 図面 A-05	A-05 図に建具工事の特記仕様に見本の製作について「製作は行わない」とありますが、建具見本の程度には「納まり等が分かる程度のもの」とあります。 見本の製作は行わないと考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
39	建具	建具工事 材質 図面 A-43、 46、47	A-43、46、47 図の A・B 階段 SD-1・2 の扉仕上げの記載が溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP となっていますが、認定番号 EA-0230 はステンレス製です。別の認定番号とし、スチール製と考えてよろしいでしょうか。	スチール製とし、認定番号は、「EA-0135」とする。
40	建具 ガラス	建具工事 ガラス 図面 A-43	A-43 図 A 階段の 1 階 SD-1、2~4 階 SD-2、A-43 図 B 階段 1~R 階 SD-1 が戸袋付常開となっていますが、耐熱強化ガラスを使用した認定品に窓付きがないようです。窓なしとしてよろしいでしょうか。 窓付きの場合、常開ではなく常閉となります。ご指示下さい。	図面記載のとおり窓付きとし、常閉とする。
41	建具 ガラス	建具工事 ガラス 図面 A-46、 47	A-46、47 図の EV ホール SD-2 のガラスが耐熱強化ガラスとなっていますが、図示では特定防火設備の記載がありません。ガラス仕様をご指示下さい。 (A 階段 R 階 SD-2 は特定防火設備となっています。)	図面 A-47 記載の SD-2 のガラスの表記は誤記で、透明強化ガラス厚 6.0mm とする。
42	建具	建具工事 シャッター 図面 A-47	A-47 図 EV ホールの SS-1 が耐火ガラス製防火電動シャッターと記載されていますが、リフトアップ式とも記載されています。リフトアップ式であれば手動式（バランス式）となるため手動	設計書中の電動の表記は、誤記で、手動式とする。

			式を正と考えてよろしいでしょうか。	
43	建具	建具 図面 A-43	A 階段詳細図 (1) 建具表 SD2 の備考に「屋上のみ水切及び床付戸当り (ゴム製)」と有りますが、水切仕様は SUS 製と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
44	塗装	建築工事 図面 A-45. 48	A 階段及び B 階段の踏面・踊場・蹴上の上裏部分には SOP 塗装を見込んで宜しいでしょうか。	同箇所は、錆止め塗装 (グレー) 仕上げとして、積算上、不要である。
45	塗装	外装 図面 A-39 設計書 P 43	設計書西棟塗装工事において鉄鋼面 SOP 塗りがありますが、遮へい壁下地鉄骨塗装と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
46	内装	建築工事 (内部) 図面 A-45. 48	A 階段の K1FL (構造スラブ面) の床仕上・下地について、A 階段詳細図 (3) では構造スラブとしか記載が御座いませんが、EV・B 階段詳細図 (3) より構造スラブ+屋外用防滑性ビニル床シート貼+防湿シート t=0.15 を見込んで宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
47	内装	内装 図面 A-43. 45~48 設計書 P 45. 103	設計書 西棟・EV 棟の内外装工事で下記の項目が有りますが、図中で該当範囲が不明です。この項目は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は該当範囲を御指示下さい。 *下り壁見切縁：4.7m	西棟及び EV 棟共、開口部の上枠 (一方枠・スチール製 SOP・見付 25・W940mm) が 5 本あるものとして、積算のこと。
48	内装	建築工事 図面 A-07	建築工事特記仕様書 (6)-20. エント及びその他工事⑭天井見切り縁とありますが、設置箇所が不明です。必要とする場合、設置箇所を御指示下さい。	A・B 階段屋上階及び各階 EV ホールである。



49	雑工事	建築工事 図面 A-35	西棟の R 階平面図の回転スペースに車止めの表記がありますが設置すると考えて宜しいでしょうか。 また、上記部分の列の駐車台数は文字表記で 14 台ですが、図面表記は 16 台で相違します。16 台を正と考えると宜しいでしょうか。	双方とも貴見のとおり。
50	雑工事	建築工事 図面 A-30. 31~35. 53	仕上表に車室番号の表記がありますが、各図面・内訳書に記載が無いため今回は無しと考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
51	雑工事	建築工事 図面 A-30. 31~34. 53	仕上表に「コーナガード」の表記がありますが、各平面図に記載が無く設置箇所が不明のため御指示下さい。	車室に位置する鉄骨柱に設置予定である。具体的な箇所については、受注者と協議する。
52	雑工事	建築工事 図面 A-31~ 35. 53	階数表示板の設置ヶ所ですが、各図面に記載が無く設置ヶ所・個数が不明のため御指示下さい。	設置箇所については、受注者と協議する。設計書に記載の数量により積算のこと。
53	雑工事	建築工事 図面 A-32~ 35	路面表示のゼブラマークの範囲ですが、平面図の金ゴテ仕上範囲と重なり範囲が不明のため御指示下さい。	範囲については、受注者と協議する。設計書に記載の数量により積算のこと。
54	雑工事	内装 図面 A-53 設計書 P 46. 104	立体駐車場棟（西棟）・EV 棟の設計書 雑工事（外部）に、階数表示の記載が有りますが、内部階段・EV の階数表示は有無が不明です。外部に倣い、内部サイン詳細図の階数表示を下記の様に見込んで宜しいでしょうか。 *階段：各階 1 か所（西棟・EV 棟） *EV：各階 1 か所（EV 棟）	雑工事（外部）に記載の階数表示の数量には、内部に設置するものを含むものとし、設置場所については、受注者と協議する。
55	その他	構造 図面 A-50	部分詳細図で、移動式粉末消火設備基礎がありますが各階に RC 基礎は必要と考えると宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
56	その他	外装 図面 A-50. M-07	駐車場車室の移動式消火器が部分詳細図（1）及び機械設備の消火設備図にありますが、施工区分は下記の様 に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 *移動式消火器本体：機械設備工事 *移動式消火器基礎：建築工事	貴見のとおり。

57	E V	昇降機工事	エレベータ付属鉄骨がA-54~63のエレベータ図面のみに記載となっていますが、金額明細は『機械室レスエレベーター一式』の中に含めるとのことで宜しいでしょうか。また同様に電話配線の敷設・病院電話交換機の整端調整も一式の中に含めるとのことで宜しいでしょうか。	鉄骨材については、貴見のとおり。 電話配線の敷設及び整端調整については、積算上、配慮不要である。
58	E V	ELV メーカー	ELV のメーカーは同等性能で指定無しでしょうか、又は病院のMTE契約契約上、既存病棟と同じELVメーカーの指定でしょうか	設計書に記載のメーカーとする。
59	外構	外構 図面A-68 設計書P108	凡例にコンクリートt130新設とありますが、補強筋及び路盤の詳細が不明です。設計書に倣い、下記と考えて宜しいでしょうか。 *溶接金網 φ6-100×100 *砕石 t100	立体駐車場本体内部のコンクリートの仕様は、構造図による。外構では当該箇所はない。
60	外構	外構工事 図面A-68、 70	コンクリート舗装の配筋を御指示下さい。	
61	外構	外構 図面A-68 設計書P113	雨水排水管φ600新設及び雨水排水管φ200新設の仕様が不明です。設計書に倣い、下記のように考えて宜しいでしょうか。 *雨水排水管φ600新設：HP管 *雨水排水管φ200新設：VP管	貴見のとおり。
62	外構	外構 図面A-68. 73	客土厚が下記のように異なります。設計書に倣い、t300を正と考えて宜しいでしょうか。 *外構詳細図（改修後・第1立駐周辺）：t300 *外構詳細図（改修後1）か～か’断面図：T400	貴見のとおり。
63	外構	外構 図面A-08 設計書P114	土壌改良剤の㎡当り使用量が下記のように異なります。20Lを正と考えて宜しいでしょうか。 *建築工事特記仕様書（7）：50L *設計書P114：20L	貴見のとおり。
64	外構	外構工事	サソカのリサイズを御指示下さい。	設計書に記載のとおり、H4.0×C0.1×H3.0である。

		図面 A-68、 70		
65	外構	外構 図面 A-68 設計書 P114	北側道路境界部にサソカの図示がありますが、寸法が不明です。設計書に倣い、H4.0×C0.1×H3.0と考えるて宜しいでしょうか。	
66	外構	外構工事 図面 A-68、 73	え～え断面に歩道がありますが、ア スファルト舗装（車道）となっていま す。カーアスファルト舗装（歩道）の新設 として宜しいでしょうか。	アスファルト舗装（車道）とする。
67	外構	外構工事 図面 A-70	歩道（既存ブロック舗装合わせ） とありますが、既存ブロックのメ ーカー品番を御指示下さい。	既存ブロックのメーカー及び品番等不明 であるため、大きさ 300mm 角及び 厚さ 60mm として、既存類似のカー 擬石ブロックにより積算のこと。
68	外構	外構工事 図面 A-67～ 70、81、82	外構詳細図と位置図（地盤改良位 置図、アスファルト舗装位置図） で撤去新設の範囲が異なります。 位置図を正とし、車道中央のあた りは全て撤去新設として宜しいで しょうか。	貴見のとおり、位置図を正とす る。
69	外構	外構工事 図面 A-65、 66、68、70	外構詳細図に既存駐車場構内の進 路案内表示は全て改修すること （改修後の外構図参照）とありま す。外構図（既存）と外構図（改 修後）からですと、今回新設する アスファルト舗装と取合う場所の 「矢印（直進）」「ゼブラ」「停止 線」「止まれ」「矢印（左折）」「出 口」が「停止線」「止まれ」「矢印 （2方向）」への変更のみと思われ ますが、その他に改修するライン 引きがあれば御指示下さい。	改修範囲にある道路面の標示は、 全て新設である。
70	外構	外構工事 図面 A-67、 69 設計書 P123 ～125	外構詳細図に樹木凡例がありますが、敷地北西側で①～⑧の樹木が 2 本ずつあり、また、東側の低木に ついて番号がありません。設計書 P123～125 の数量を正として宜しい でしょうか。 上記質疑について設計書が正でな い場合、樹木凡例に撤去する樹木 を御指示下さい。	貴見のとおり、設計書の数量を正 とする。なお、樹木④、⑤、⑦お 及び⑧は 1 本で、東側の低木は、 アマリガサ、ボックスウッド、ツツジであ る。

71	外構	外構工事 アスファルト下部セメント 固化材材質 図面 A-75	Mアスファルト下部の地盤改良 セメント固化材 50kg/m <sup>3</sup> の材質は無粉塵で考えればよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
72	外構	外構工事 アスファルト部仕上げ表示 図面 A-64	正面入口部からの乗降車両合流部分及び西側タクシー広場との分岐部分のアスファルト部の表示が斜線表示されていますが仕上げについてご指示願います。	図面 A-78 に記載の停止禁止部分である。
73	構造	建築工事 図面 S-01, 30	土間下の砕石厚さが両図面で異なります。S-30 図の t=100 を正と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
74	構造	地業工事 図面 S-06、10	S-10 図に杭頭補強要領が記載されていますが、中詰めコンクリートの有無が不明です。S-06 図により主筋定着方式として中詰めコンクリートはないものとしてよろしいでしょうか。	杭上端から杭径の 1.5 倍の深さまで、基礎コンクリートと同配合の中詰めコンクリートが必要であるため、積算のこと。
75	構造	地業工事 図面 S-10	杭先端の拡張比 e は 1.4 として考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
76	構造	地業工事 杭頭補強 図面 S-10	杭頭補強筋について S-10 図の杭頭補強要領に P14、P53 の記載がありません。それぞれスタッド溶接と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
77	構造	コンクリート工事 デッキコン強度 図面 A-30、39、40、41、S-01	デッキコンクリート強度について A-30、39、40、41 図では $F_c=21\text{N/mm}^2$ 、S-01 図では $F_c=24\text{N/mm}^2$ となっています。S-01 図を正と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
78	構造	建築工事 図面 S-14	スロープ部分 A 図が御座いますが、斜めスラブ S1 の下は、盛土を行い土間スラブとすると考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
79	構造	建築工事 図面 S-13, S-19~27	フーチング下端バルについて、基礎伏図及び軸組図、基礎リストにて、下端バルが相違しています。特記無き基礎下端は GL-1950 とし、駐車場棟は軸組図を正と考え、スロープ棟は基礎伏図を正と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。

80	構造	建築工事	また、EV 棟については、軸組図の双方向でレベルが相違しています。EV 棟フチングレベルは、全て GL-1950 と考えて宜しいでしょうか。	全て GL-1750 とする。
81	構造	建築工事 図面 S-27, 30	EV 棟及びスロープ 棟のフチングと基礎柱の断面寸法について、フチングの大きさより基礎柱の寸法の方が大きくなっています。F 91 を 900 角、F51, 52 を 1050 角と考えましたが、宜しいでしょうか。	F91 が礎柱 C91 と対で 800 角、F51 及び F52 が礎柱 C51 と対で 1000 角となる。
82	構造	建築工事 (躯体) 図面 S-07, 14	基礎梁上端増打ち補強筋について、S-07 配筋標準図と考えましたが、S-14 図イ、断面では S-07 図に準じたスタップでは無いように見受けられます。基礎梁上端増打ち補強筋を御指示下さい。	原則として図面 S-14 による。
83	構造	建築工事 図面 S-14	イ、ロ、ハ断面詳細図の高さ寸法は、誤記と考え、基礎梁天端は GL-250、FW18 天端は GL+500 と考えて宜しいでしょうか。	基礎梁天端は GL-250、FW18 天端は GL+500 とする。
84	構造	建築工事 図面 S-30	基礎柱天端は設計 GL-250 までとなっていますが、GL-250 からスラブ天端までの根巻増打ちの補強筋は、主筋 16-D16、フープ筋 D13@100 と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
85	構造	建築工事 図面 S-14, 30	EV 棟の壁 W18 のリストが S-. 30 図に御座いません。断面配筋は FW18 と同じと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。
86	構造	構造	デッキスラブに耐火補強筋は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は該当範囲を御指示下さい。	不要である。